

NEWS LETTER



△お役立ち情報がたくさん！@ちがさきサポセン～つながりアンケートも実施中♪

CONTENTS

- ・「市民活動交流カフェ」をふりかえる
- ・こどたん+プラス 2023 News!
- ・市民活動パネル展
- ・寄贈品でつながる想い
- ・NPO 講座 2、3
- ・「さぼちゃんが行く！」
ともだちの家
- ・ITスキルアップミニ講座 6
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



館内入口に「こどたん+(プラス)2023」
カウントダウンボードが登場！
高校生ボランティアがつくってくれた
日めくりを、サポセンスタッフがデコ
レーション。まわりのお花は、コーラ
スの団体がステージで使っていたもの
を譲り受けました。
当日ボランティア募集中です～(^^)

開催案内

第6回 SDGsカフェ

地域の力が集まった
「新しい交流の場」創りませんか
～休耕田んぼの活用でみんなを笑顔に～

- ◇日 時：2月25日(土) 14:00～16:00
- ◇対 象：ちがさきの街を元気にしたい
まちなかでも自然と共に暮らしたい
農業・農地と共生するまちづくりがしたい
子どもたちに地域のつながりを残したい...
そんな「～したい」精神をお持ちのすべての方
- ◇ゲ ス ト：島村美咲さん (おもちの田んぼの会)
鈴木 國臣さん (タゲリ米農家)
- ◇定 員：30名
- ◇申 込：2月1日(水)～2月22日(水)
(申込制、先着順)



地域の居場所づくり交流VII@茅ヶ崎

本を通じて形成される人と人の結び目としての
「場」に注目し、本というメディアを介した
居場所づくりの可能性を探ります。



- ◇日 時：3月4日(土) 14:00～17:00
- ◇対 象：居場所づくりに関心のある市民、市民活動
団体、自治体・福祉団体などの職員、自治体
関係者など
- ◇講 師：磯井 純充さん (まちライブラリー提唱者)
- ◇事例報告：池田美砂子さん (Cの辺り)
大西 裕太さん (話せるシェア本屋とまり木)
芝 匠子さん (ぬくぬく文庫) (横浜市青葉区)
- ◇定 員：30名
- ◇申 込：2月1日(水)～2月22日(水) (申込制、先着順)
- ◇協 力：茅ヶ崎居場所づくりネットワーク

【特集】「市民活動交流カフェ」をふりかえる

市民活動をしている人たちのネットワークづくり、新たに活動を始めたい人たちの参加のきっかけ・仲間づくりを目的に、多様なテーマやアプローチ、多彩なゲスト、多くの団体・関係者との連携・協力により事業を行ってきました。地域や社会の動きにアンテナを張って柔軟に進化させてきた「カフェ」企画をふりかえます。

● サポートセンター交流・懇談会 「市民活動カフェ」 2006.7～2009.1

お茶を飲みながら気軽に語り合える、市民活動団体同士の交流の場、茅ヶ崎を元気にしたい人々が交流する場を「カフェ」と名づけ、2006年7月に第1回を開催。60名ほどが参加しました。

2回目以降は「新聞記者に学ぶ情報発信」「会員の増やし方」「協働のきざし発見(当時の茅ヶ崎市長や様々な団体が登壇しての活動発表)」「ボランティアの楽しさ」「活動の次のステップ」「子どもの元気を地域に生かす大人の力」など、テーマを設けゲストスピーカーのお話を聞きながら参加者同士が語り合う、今も続く「カフェ」のスタイルが徐々に定着していきました。



2008年度には、シニア世代と若い世代、エコと福祉に注目し、様々なスタイルのカフェを実験的に実施。

サポセンを飛び出しバスで市内の活動現場をめぐる「自由人(シニア)カフェ～茅ヶ崎発見エコツアー(山側)、まち環再発見シーサイドツアー(海側)」や、若い世代の活動事例発表・報告会などを行いました。

● 市民立太陽光発電所「れんこちゃん1号」 完成記念点灯式、エコツアー 災害エコレンジャー 2009.7～2012.10

開設当初からエコな取り組みを進めてきたサポセン。2009年7月太陽光発電所の設置をきっかけに、設置団体ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)と様々なタイプのエコカフェを共催で開催しました。

「いかそう太陽エネルギー～めざせ茅産茅消～」をキャッチフレーズに、「れんこちゃん点灯式」「天ぶらバス(BDF)で行くエコツアー」、省エネ・環境講座(茅ヶ崎市環境フェアとのコラボ企画)など。



中でも2010年から柳島キャンプ場や中央公園等で計5回開催した「めざせ!災害エコレンジャー」は、楽しみながら災害時にも役に立つエコな知恵を学べる、と小学生や親世代に大好評。行政や地域の様々な団体と連携して実施しました。

● ぱりあふりーカフェ 2008.7～2016.11

「障がいがあっても楽しくつながり働きたい」をテーマに、2011年11月まで、同窓会「カフェおひさしぶり」を含め7回、サポセンやCafe.COM(旧茅ヶ崎市役所1階)、茅ヶ崎地区コミセン、カフェサザンポなどで開催。障がいのある人や支援団体、働きやすい環境づくりをしている事業者や行政等さまざまな立場の方が参加し交流を深めました。

2016年には、サポセンと茅ヶ崎市役所新庁舎1階市民ふれあいプラザ(協力Cafe.COM)にて各1回開催。久しぶりの再会に、会場は、和やかなおしゃべりと温かな雰囲気になりました。



● 茅ヶ崎維新カフェ 2009.7～2015.6

「茅ヶ崎に住んでいる維新志士...『今の時代にはない信念と覚悟、情熱と決意を持った人』、『誰も通らなかった道を自分たちの力で切り開こうとする行動力・発想力を持った人』に会ってお話をする交流会」として8回開催。ネーミングは当時の大学生スタッフです。

ゲストには、NPO法人セカンドブックアーチ、湘南サドベリースクール、文教大学FAIR、社会起業家・関根健次さん(ユナイテッドピープル株式会社)、輪輪シネマ、加藤壮章さん(NPO法人一心)、義肢提供でルワンダの人々の自立を支援するムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトなど、茅ヶ崎を中心に先駆的に活動していた若い世代の方々をお招きしました。



維新カフェでは、ワークショップやペDESTリアンデッキでの清掃体験、2010年頃から茅ヶ崎市内で映画の自主上映会が盛んだったこともあり映画上映&交流会なども企画。映画を通して、3.11以後の暮らし方や社会のあり方について見つめ直す機会となりました。

映画上映会は、2012年6月、第1回茅ヶ崎映画祭へ参加も兼ねてサポセン開設10周年記念「さぼせんワイワイまつり～season1」でも実施。館内と野外(サポセン駐車場)で2作品の上映&交流会を行いました。

● よるカフェ 2013.8~2020.5

「よる＝夜～寄り～縁る～
出会い、つながり、生まれる…
はじまりのきっかけは、よるカフェ」



コンセプトも新たに、当初は夜の時間帯をメインに開催。第1回は市民から寄贈された切手を必要な団体に仲介・提供するプログラム「さぼちゃんポスト」の取り組み(現在は終了)も紹介しながら、懐かしい「切手」をテーマに語り合いました。



2014年の第5回では、子育て世代の参加を意識して「<朝から>よるカフェ～子どもと過ごす豊かな時間(片山どんぐりさん)」を企画。参加したママたちが、これからの自分自身や日常の輝きを見つけられるよう、スタッフ&保育ボランティア総出で託児を行いました。

また2015年、夏休み期間中に開催した「<昼でも>よるカフェ～介助犬と聴導犬(特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南)」では、パティとひめの実演にふれた子どもたちが自分にできることについて考えました。

海外支援のあり方を考える「フェアトレード(ネパールとの架け橋ねばるば)」、東日本大震災の被災地支援がテーマの「ひとりのちから(TAJ 小野間博さんによる落語上演も!)」、歩きながら茅ヶ崎の魅力を体感する「ノルディックウォーキング(NPO法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎/湘南茅ヶ崎ノルディックウォーキング同好会)」など、そのときどきの旬なテーマで企画した「よるカフェ」。

当時の大学生スタッフによる趣向を凝らしたチラシデザインも思い出深いです。

● よるカフェ/団体企画 2014.2~2020.5

「マンション防災(ちがさき駅前ひろば)」「ラジオドラマ体験(湘南SHOW点)」「防災ママカフェ、防災カフェ(防災スイッチオン!プロジェクト)」「懐かしのフォークソング(まなびの市民講師矢島望さん)」「かんたん iPad 講座(認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット)」など、団体によるバラエティに富んだ企画で市民が交流しました。

● #エコ月間#れんこちゃんまつり 2019

2019年度は市民立太陽光発電所「れんこちゃん1号」10周年を記念して、再びエコをテーマに講演会&トークセッション、「茅ヶ崎南北縦断エコバスツアー(残念ながら台風接近のため中止)」、「カンボジアえんぴつ寄付報告会(一般社団法人ホワイトベース)」など行いました。

● オトナのよるカフェ 2017.7~2018.1

「自分の好きなこと・大切に思うこと、持っているスキルでたくさんの人を巻き込んで、まわりの人たちを幸せにする活動をしている諸先輩方から生き方のヒントをもらう」カフェを5回開催。

ゲストには、鈴木國臣さん(三翠会)、西信光さん(歌声サロン「チーパッパ」)、重田扶美子さん(NPO法人WE21ジャパンちがさき)、中園五月さん・園部暁美さん(精進料理iori)、大木伊都子さん(NPO法人パソコンボランティア湘南)をお迎えし、みんなで歌ったり料理をしたり、お楽しみ要素も取り入れて実施しました。

● 地域の居場所づくり交流会 2016.10~

2016年、子ども食堂や子育て・高齢者のサロンなど、自分たちで居場所づくりをする人たちが増えてきたと感じ、「居場所」をキーワードに「カフェ(交流)」と「NPO講座(学び)」二つの要素を取り入れた交流会を企画(第1回の企画協力:地域のお茶の間研究所「さろんどて」)。



2020年度からは、この交流会がきっかけで出来た「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」が企画協力しています。年1回開催。

● SDGs カフェ 2021.10~

2021年度からは、持続可能な開発目標SDGsの17のゴールに関連するテーマを設定し、SDGsに関わる具体的な活動実践について学びながら、参加者同士の顔の見える関係を築ききっかけづくりの場を提供。

コロナ禍ではオンライン開催にも挑戦しました。

■ 開催報告 第5回 SDGs カフェ



「障がいのある人とおしゃべりしませんか
～津久井やまゆり園事件から6年、障がい者は今～」

◆日時: 2022年12月3日(土)14:00~16:00

◆ゲスト: 上杉桂子さん〔NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン(Sネット)理事〕 ◇参加者: 46名

「誰一人取り残さない」社会の実現をめざしているSDGs。「障がい者週間」のある12月に、障がい者、特に知的にハンディのある方との関わりを皆さんと考えたい機会として対面開催しました。

Sネットで毎月催している「エンパワ・サロン」や県の受託事業「お友達プロジェクト」の紹介ほか、参加者がグループにわかれ、当事者の方も入り混じって自由な「おしゃべりタイム」を満喫しました。

詳しい開催報告はホームページをご覧ください

こどたん+プラス 2023 News!

対面・オンライン
お楽しみに♪



こどもから大人まで、多世代がワイワイ楽しみながらつながる、体験型交流イベント。
参加した人たち同士が交流し、みんなの思いがにつながる。いろいろ体験しながら、ちがさきの魅力を知って、これからも住み続けられるまちにするためにできることを考え、新しいことにチャレンジする。そんなキッカケづくりの場を提供します。

3月12日(日) 10:00~15:30 (対面開催) オンラインでも楽しめる♪ (3/6~3/26)

会場:ちがさき市民活動サポートセンター

入場無料

学べる・遊べる動画がたくさん!



館内ワークショップ

10:00~12:00

フラ体験
手話体験
点字体験
木の恐竜づくり*
キーホルダーづくり
パソコンでマイシール

13:30~15:30

KEEPLEFT プレート*
おえかきリレー
科学実験*
竹とんぼづくり*
ラジオドラマ体験*
防災体験

12:00~13:00

サンバ演奏&ダンス体験

10:00~15:30

3Dプリンター見学会

ゆるっとつながろう
コーナー

ちょうどよいつながり、かかわりの形はそれぞれ
あなたはどんなつながりが心地よい?

詳細 P5 へ

屋外ワークショップ/物品販売 10:00~15:30

ソーラークッキング実演
ソーラークッカー工作

ネパール雑貨
コーヒー販売 など

無線通信体験

・水を入れると見えてくる
かわいいインテリア
・福祉作業所作品販売

・使えるおもちゃや絵本、新品文
房具を必要なものと物々交換
・ぬいぐるみ販売

木のおもちゃ販売

子どもあそび広場
・スーパーボールすくい
・木工あそび

保護犬がやってくる
・啓発活動
・チャリティグッズ販売
・くじ、ゲーム

サステナブルアクション

新品文房具、絵本やおもちゃを
集めて、次に必要としている人
のもとへ届けます!



*...「事前申込」:受付は 3/1(水)より開始(先着順) 空きがあれば当日参加 OK
本イベントは感染対策を講じた上で開催します。都合により予定が変更になる場合があります

*...材料費が必要なワークショップ、販売ブース

☆詳細は、特設ページをご覧ください☆

ホームページにて詳細掲載!

「こどたん+2023」特設ページ▶▶

プレオープン

2月17日(金)



さぼちゃんワードラリー



会場内にかくれた文字をみつけて
ひとつの言葉をつくろう♪

《参加予定団体》

対面会場 NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会、認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき、OTO-TOI ハウス
KEEP LEFT PROJECT、サンチャイ・ネパールねばるば、湘南 SHOW 点、認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット、湘南
1Leben、ソーラーハウスにしかわ、茅ヶ崎 CAD 部、茅ヶ崎市国際交流協会、茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会、茅ヶ崎市聴覚障
害者協会、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワーク、茅ヶ崎セフティコミュニティアマチュア無線クラブ、茅ヶ崎竹
とんぼ教室、DIY アドバイザー神奈川茅ヶ崎支部、フイケ アオ アロハ ハウオリ、Pukana La[+]MARKET、防災スイッチオ
ン!プロジェクト、NPO 法人もったいないジャパン

動画配信 きらきらぼし(子育て応援する会)、三翠会、NPO 法人湘南遺産プロジェクト、湘南 SHOW 点、じゃおクラブ湘南、
茅ヶ崎市(環境政策課・香川公民館・南湖公民館・体験学習センターうみかぜテラス・保育課・健康増進課)、茅ヶ崎セフティ
コミュニティアマチュア無線クラブ、てててので、NPO 法人日本アーティスト協会、ほめほめほーむ(Homehome Home)、
わんにゃんマルシェ (50音順、1/25 現在)

《Web 協力》株式会社ボンド

《駐輪場協力》AGC セイミケミカル株式会社

《後援》茅ヶ崎市、茅ヶ崎市教育委員会

つながりアンケート

あなたが誰かと「つながる」のに、必要なコト・モノ・要素は何ですか？



3/12(日)まで受付

アンケートに
答えてイベント
に参加しよう！



変化していくのが「あたりまえ」のなか、私たちは人と人、人と地域などみんなが自然とつながれる“場”、そして、その場から生まれるちいさな思いを開設当初より変わらず大切にしています。つながりあうと次の大きな力となると信じているからです。

私たちが企画する事業はいつも地域の人と人がつながるためを考えています。もちろん今回の企画もその一つ。人と人とのつながり方、価値観の変化がみられる現在、サポセンとご縁があるみなさんが日頃どう感じているのか聞いてみたいと思い、この企画が生まれました。

みなさまからの回答は、こどたん+2023 “ゆるっとつながろうコーナー” 『つながりの木』に展示します。また、このコーナーでは #アンケートを書いてみよう #みてみよう！よんでみよう♪ #つながりを深掘しちゃう #思い出 残そう フォトスポットなど楽しい企画盛りだくさん。ぜひ3/12(日)、サポセンに来てください！

つながりアンケート ☆ワカモノ編☆

ひと足先にワカモノを対象にアンケートをスタート！

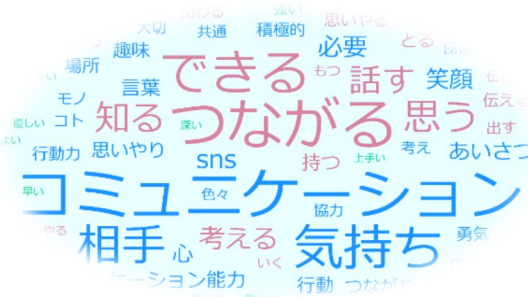
～ちょっとだけご紹介 (回答数:166名)～



コロナ禍でリアルなつながりが思うようにもてなかったためか、つながるためには勇気や強い思いをもたないと難しいといった回答もありました。

集計結果はコチラ➡

(文字の大きさが大きいものほど
回答数が多いワード)



～回答抜粋～

- 話し合いで相手を知る：
この「知る」ことが「つながる」になる
- 同じ思いの人が協力し合う：
同じコト、同じモノ、同じ要素を持つ人と会うことがつながるの第一歩
- 勇気をもって一歩踏み出す：
最初の一歩でだれかが関係をつくり大きなつながりになると思うので、地道な活動が大切
- 挨拶がスタートライン：
挨拶することで話し始めたり相手とのコミュニケーションをとることができる

集計に使った「AIテキストマイニング」*は多量のテキストデータをAI技術で見える化するアプリ、おススメです。
*ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析
(参照：<https://textmining.userlocal.jp/>)

☆ワカモノとは…中・高校生と大学生
若者ボランティア(通年)、ユースボランティア茅ヶ崎(夏)参加者、ボランティア塾 in 鶴嶺高校(秋)受講生のみなさん

市民のチカラで、伝える
変える、つながる未来に…

市民活動パネル展 開催

市民活動団体の日頃の活動やイベント告知、会員募集などのメッセージをお届けします。
10分野から30団体が参加！オリジナリティあふれるパネル展示をぜひ見に来てください♪



展示期間&場所

PART 1

3/6(月)～3/12(日)

9:30～21:30

※3/12は17:30まで

@ちがさきサポセン

PART 2

3/14(火)～3/22(水)

8:30～17:00

@茅ヶ崎市役所 1階
市民ふれあいプラザ

パネル展示参加団体 (50音順)

えぼし岩海の自然体験教室 実行委員会	茅ヶ崎市国際交流協会
一般社団法人エールちがさき	NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク
神奈川県健康生きがいづくりアドバイザー協議会湘南地区ネット	ちがぼ〜(茅ヶ崎に冒険遊び場をつくらう会)
ガールスカウト神奈川県連盟第16団	Chigasaki Cat's Protect
きらきらぼし(子育て応援する会)	Chigasaki Wave Club
KEEP LEFT PROJECT	ニッポン・アクティブライフ・クラブ
三翠会	にゃんとも楽しい ² 算数数学
サンチャイ・ネパール ねばるば	筆記通訳サークル「虹」
湘南シニアクラブ	マザーアース茅ヶ崎
湘南SHOW点	未来を考える市民の会
湘南1Leben	柳島いまわかし会
じゃおクラブ湘南	わ・ちがさき
ソーラーハウスにしかわ	わんにゃんマルシェ
チームみつばち	認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき
茅ヶ崎郷土会	ちがさき市民活動サポートセンター

寄贈品でつながる思い

サポセンでは様々な寄贈品を仲介しています。年末年始、今回も寄贈してくださった方々の「思い」を市民活動団体や来館者のみなさまにおつなぎしましたので紹介します。



明治のお菓子 <寄贈元：明治ホールディングス(株)株主のみなさま>

障がいのある子どもや自然災害で被災した子どもの支援活動をしている団体へお菓子や飲料を寄贈するプログラム。今年もたくさんの子どものクリスマスプレゼントになりました。



たのくんからの贈り物 <寄贈元：(株)大塚商会>

通信販売事業「たのめーる」のパッケージ破損などで戻し入れになった商品を NPO 団体や福祉施設に寄贈する社会貢献プログラム。

文具や衛生消耗品など拠点のある団体を中心にお渡しし、サポセンでも有効活用しました。

防災備蓄品 <寄贈元：セカンドリーグ神奈川>

食品ロス削減啓発活動の一環として地域で実践。消費期限が近くなってきた商品を必要な団体におすそわけ。市内のいろいろな団体に喜ばれました。



2023 年カレンダー <寄贈元：大和リース(株)・利用者のみなさま>

新年になって館内に掲示。様々なデザインの壁掛けカレンダー、卓上カレンダーが目を楽しませてくれました。手帳も人気のようでした。



開催報告 NPO 講座 2 「市民活動団体のための SNS 運用のいろは」

◇日 時：2023 年 1 月 23 日(月) 18:30~20:30

◇講 師：市川ヤスヒロさん (株式会社ボンド代表取締役/デザイナー)

◇参加者：11 団体 12 名



～ 応援してくれるファンを増やすには

日々コツコツと丁寧に伝えていこう～

コロナによる対面活動縮小などの影響を経て、現在では多くの団体が Twitter・Facebook・LINE・Instagram 等の SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)で情報を発信しています。しかし、情報を届けたい相手が実際に SNS 利用者なのか? いま一度、情報を届けたい相手を想像してみることも、広報において大事なことです。

「発信が活動活性化のためなのか受益者のためなのかを意識して適切なコトバ・写真・映像を使う」「SNS ユーザーに提供できる団体の価値を伝える」「イベント参加や活動の応援につながる発信方法」「集まったユーザーの分析ツールの利用法」など、SNS を運用していく際に重要な考え方や工夫を学ぶ機会となりました。

今回は Instagram を例に、効果的な投稿事例を見ながら、投稿の分析ツールの具体的利用法を、受講者がスマホを片手に実践する場面もあり、講座後アンケートでは「“#”ハッシュタグについて、理解が深まった」「SNS 初心者にはちょっとレベルが高いと感じた」「“あっそれやってみよう!”と思える、具体的な内容が何個もあった」「Instagram の色々な便利機能を知れて良かった」などの感想をいただきました。

～ 共感から応援へ、GIVE and TAKE ～

SNS は「インターネット上の交流の場」です。一方的な発信ツールではないことを自覚し、団体アカウントを見てくれている人、レスポンス(「いいね!」や「保存」「シェア」等)をしてくれた人と交流を図りながら、活動への共感から応援へと更につながりを深めていきましょう。

予告 NPO 講座 3 「パートナーシップでまちづくり～知っておきたい行政のしくみ」

無料

開催日：2月18日(土) 14:00~16:00 @ちがさきサポセン 講師：茅ヶ崎市企画経営課職員、市民自治推進課職員
*市民活動と行政、互いの「違い」を知って「協働」のまちづくりを一步前に進めよう! ~詳細はHPをご覧ください~



さぼちゃんが行く！



ともだちの家

毎週土曜は「好きな事しにおいて、みんなで遊ぼう！何を持ってきても、危なくなければOK！」ともだちの家は、小学生から高校生までの子どもたちが自由にあそびに来る場所です。おとなは“見守る”だけ、“指導はしない”で、子どもたちの“心に寄り添い”年代や世代を超えた交流のなかで、居心地のよい子どもの居場所を目指しています。



《廣瀬 美代子さんにお話をうかがいました》

やりたいと思った人が やればいい！

長年勤めた仕事を退職し、縁あって主任児童委員の委嘱を受け、市の児童部に参加。子どもたちの置かれている状況を学ぶ中で、講演会企画でNPO法人たまりば理事長の西野氏に出会い、「川崎市子どもゆめパーク」見学時に、どうやってその活動を始めることができたのかを聞くと、「やりたい、やらなきゃ！と思った人が、やればいい！」との答えが。その時に「私にも出来るかもしれない！」と、それが今の活動を始めるキッカケになりました。

主任児童委員を続けていると、徐々に困難な状況にいる子どもたちが見えてきて、「子どもたちが心から安心できる場所を早く創りたい！」と、任期が終わる1年前から、県や市で開催される居場所づくり講座に通い、活動準備を進めていたとの事でした。

自然豊かなつつみの自治会館で...

2015年から小出の下校見守りに参加して、直接子どもに会う機会が増えて色んな話を聞くうちに、この子どもたちが安心してあそべる場所をとの想いが更に強くなっていきました。場所探しで悩んでいる折に、当時の堤上自治会長から「思い立ったら、すぐにやらなきゃダメだよ」と言われて、自然豊かな環境の堤自治会館の借用をお願いし、活動に共感してくれる2人の仲間と共に、2016年1月から隔週土曜で「ともだちの家」を開始することに。活動に先立ち、趣旨説明や運営への理解協力を求めて、小中学校・自治会・地域包括支援センター等地域の関連組織へご挨拶に廻りました。

当初は、地域の方々に子どもの居場所(あそび場)が理解されず「不登校や特殊な事情を抱えた子どもたちが集まる所」「貸している施設が汚されたり、壊された

りするのでは…」などの声もあり、活動に理解と協力が得られるまで、何度も説明に赴いたりお願いしたりと、思い起こせばたくさんの困難がありました。

でも、様々な出会いでのなかで、地道にコツコツと話し合いを続け、徐々に互いを知り、つながることで、今ではしっかりと信頼関係が築けています。

地域のつながりから 嬉しい差し入れも...

シニア3人で始めた頃は、子どもたちと一緒に食べるお昼やおやつ代、学校や自治会に配布するチラシ代もすべて自費でまかない、外部援助は一切なし。当時は、援助を受けるのも難しいと考えていました。

しかし、2021年に中学生の保護者より「親にも先生にも悩みを打ち明けられない中学生たちがいる。」と、相談を受けたことがキッカケで、見守りメンバーに若い世代も加わって現在の運営形態に。少人数だった子どもたちも徐々に増え、学年が進んでも通ってくれる子どもたちも結構います。

最近では、お昼代・おやつ代など運営面での出費が嵩み、一口500円の寄付を地域の方をお願いするのはどうかと、各関係組織に相談したら「地域の子どもの為なら」と自治会・地区社協等から補助がいただけることに♡感謝♡ また、近隣の方々からも、食べ物や飲料など、嬉しい差し入れをいただくことも多く、地域の皆さまに支えられて活動ができていることを、日々実感しています！

一瞬でたのしい場所ってわかった!!

あそびに来ていた子どもたちの声も聞いてみました♪



「回覧板で見て、来たら一瞬でたのしい場所ってわかった!!」「土曜の午後がヒマだった、いまは他の子やおとなとあそべて楽しい!」「最初はともだちに誘われ、たのしいから兄弟姉妹と一緒に来ている」「ここはおとなも一緒にあそんでくれる」「お母さんがサポーターで、私も来るようになった」別の部屋にいた高校生は「学校でも家でもないこの場所が好き」「家族や先生とは違うおとなに話を聞いてもらえる」と、この場所が大好きな気持ちが伝わる声ばかり、暖かくやさしさに包まれた「ともだちの家」でした。



お知らせ



IT スキルアップミニ講座 6

「Excel 活用！」(初～中級向け)

表作成やデータの集計(関数利用)、集計結果の整理や分類、報告書の作成などを学びます

- ◇日時：2月28日(火)13:30～17:00
 - ◇場所：ちがさきサポセン (フリースペース大)
 - ◇講師：鈴木洋一さん (NPO 法人パソコンボランティア湘南)
 - ◇内容：業務やスケジュール管理などの表の作り方をデータグラフ化、報告書の作成も簡単に
 - ◇参加費：500円 (資料代)
 - ◇定員：10名 (要申込・先着順/1団体2名まで)
 - ◇対象：市民活動団体、自治会、社会福祉法人、公益法人、その他公共施設スタッフ、興味のある方など
 - ◇持ち物：筆記用具、ノートPC(※OS: Windows10・11、MicrosoftExcel2016以降)
- ※デスクトップPCの方は、サポセンの貸出PCが利用可能 (要申込/先着2名まで) お申込はコチラ▶



パソコン湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談できます。(無料、各回定員2名)

開催日：第2・第4月曜日

- ①13:00～14:00 ②14:00～15:00
- ③15:00～16:00



詳細はコチラ▶

※お申込みは直接 NPO 法人パソコン湘南へ

貸出用ノートパソコン・リニューアル!

活動に必要なインターネット閲覧、文書作成や印刷に利用いただけます。(貸出用ノート PC4 台)



※USB でデータを持ち込みする際は、窓口でウイルスチェックにご協力ください。

メーカー：FUJITSU(FMVA96051P)
OS：Windows11/ CPU：CORE i5
Web カメラ、DVD ドライブ付

Topics 館内の無料 Wi-Fi のアクセスポイントが増えました! 詳しくは館内表示をみてね📶



令和5年度実施 市民活動げんき基金補助事業 「公開ヒアリング・プレゼンテーション」開催

応募した団体すべてが参加。提出書類(事業企画書)とヒアリング・プレゼンをもとに、市民活動推進委員会が評価・審査を行います。お気軽にご参加ください。

日時：3月18日(土)

9:30 開会 スタート支援(9 事業)

13:30 開会 ステップアップ支援(6 事業)

場所：茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階 会議室 2～5

問合せ：市民自治推進課 82-1111(代表)

広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷2/1号：未来を考える市民の会

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

2月							3月							4月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

- ・2/18 PM NPO 講座
- ・2/25 PM 第6回 SDGs カフェ
- ・2/28 PM IT スキルアップミニ講座 6

- ・3/4 PM 居場所づくり交流会VII
- ・3/11 NT こどたん+2023 準備
- ・3/12 こどたん+2023 夜間は閉館
- 市民活動パネル展
- ・3/6～3/12@サポセン
- ・3/14～3/22 @茅ヶ崎市役所1階ふれあいプラザ

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、上記以外でもフリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3))

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

(指定管理期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

サポセンキャラクター “さぼちゃん”



サポセン HP